

補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等							
補助金の名称	記念式典補助金				No.	70	
予算事業名	学事事務事業						
予算科目	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02事務局費	
	節	19負担金補助及び交付金	細々節	01記念式典補助金			
部課名	教育委員会学校教育課			電話番号	049-251-2711	内線	623

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則		
	要綱	富士見市立学校開校記念事業補助金交付要綱	
	その他		
開始年度	平成 4 年度	終期の設定	<input type="checkbox"/> 有(年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費的補助	

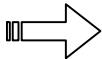
補助金の概要	
目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	記念式典は節目を迎える児童・生徒、保護者、教職員が長い伝統を引き継ぎ、新たな歴史を刻むことへの使命感を高め、学校を愛する心を深めることを目的としている。 また、学校を中心とした多くの人々との絆を深め、地域の活性化を促すことを目的としている。
導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	記念講演の開催や記念誌等の作成のためには多額の費用がかかる。学校の負担を軽減するため補助制度を導入した。
対象資格 (対象資格はどのようなものか。)	富士見市立の学校で記念式典（開校した年から10年単位で行うものに限る。）を行う学校を対象としている。
交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	目的にかなっており、記念講演の開催や記念誌等の発行を確認している。
積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 320 千円
	一校につき、16万円。

補助割合等	
補助割合等の明示	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 定額) <input checked="" type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位: 件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	2件	2件	2件	
交付(見込)件数の増減要因		-	-	
決算(予算)額(A)	320,000	320,000	320,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	320,000	320,000	320,000
概算人件費(B)	7,101	7,122	7,122	
概算補助事業費(A+B)	327,101	327,122	327,122	
実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	記念式典実施に係る経費の内容が証明できる領収書等の書類を添えて報告してもらい内容を確認している。			

事業環境等	
見直しの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (18 年度) <input type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直内容 無⇒見直さない理由	「富士見市立小・中学校及び養護学校のPTA等の団体が組織する、学校開放記念事業実行委員会(以下、「実行委員会」という。)」と記載されていたところを、「富士見市立小・中学校及び養護学校の開校記念事業を行う者(以下、補助事業者」という。)」と改正した。(※旧「養護学校」→現「特別支援学校」)

廃止した場合の問題点 <small>(廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)</small>	教育活動の一環として学校教育の充実を図るためや、地域の活性化のために補助金による補助事業を行っているが、回復の見えない経済情勢の中、後援会による支援は期待できない。行政による補助が廃止された場合、在校児童・生徒と保護者といった限られた関係者のみが関わるものとなり、伝統を引き継ぎ、学校を愛する心を深めることや、学校を中心とした多くの人々との絆を深め、地域の活性化を促すことは困難である。
---	---

評 価		判断理由	評 価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	教育活動の一環として学校教育の充実を図るためや、地域の活性化のために補助金による補助事業を行っているが、回復の見えない経済情勢の中、後援会による支援は期待できないため、今後も行政による補助の実施が望ましい。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	学校を核とした地域の絆を深めるとともに、地域の教育力を高めるためにも優先的に推奨しなければならない。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	児童生徒にとっては学校の歴史や伝統を知る絶好の機会であり、保護者・地域の人たちにとっては学校に対する関心や理解を深め、学校を愛する心を育てる推進力となっている。記念式典に向けた諸準備を協力して進めることによって、学校と地域との連携が深まり、学習活動や安全確保、環境整備等の保護者や地域住民によるボランティア活動も更に充実したものになっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	今後も、この補助事業を継続することにより、児童・生徒、保護者、教職員が伝統を引き継ぎ、新たな歴史を刻むことへの使命感を高め、学校を愛する心を深めることができる。学校を中心とした多くの人々との絆を深め、地域の活性化を促す。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上継続  <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更） <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで）		
	見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。		